

平成26年度 環境創造局 運営方針



横浜市環境創造局

I 基本目標

「かけがえのない環境を未来へ」

～市民、団体、企業との連携・協働により、よこはまの豊かな水・緑環境、安全・安心な生活環境を創造し、次世代に伝えていきます～

II 目標達成に向けた施策

環境行政の基軸となる取組の推進

環境行政の基軸として、「生物多様性の主流化」と「地球温暖化対策の推進」に取り組むとともに、あらゆる施策にこの視点を取り入れます。そして、環境管理計画、ヨコハマbプラン、下水道事業中期経営計画など、環境に関する諸計画の改定・策定を進めるとともに、環境未来都市計画を推進します。

「横浜みどりアップ計画」の推進

「横浜みどりアップ計画」(計画期間:平成 26-30 年度)の初年度として、森(樹林地)を育む、農を感じる場の創出、市民が実感できる緑の創出を3つの柱とし、目標に向けた取組を精力的に推進するとともに、あわせて効果的な広報を推進します。

活力ある都市農業の展開

持続できる都市農業の推進に向けて、時代の変化に応じた活力ある都市農業を展開します。また、(仮称)横浜都市農業推進プランの策定を進めます。

市民生活の安全と安心のさらなる確保

強じんな防災・減災都市の実現に向けて、地震防災戦略に基づく危機管理への取組をはじめ、公園・下水道の整備や維持管理、生活環境の保全など、市民生活の安全と安心を確保する取組を着実に推進します。

環境分野から横浜を活性化する取組の推進

横浜経済に資する取組を進めるため、環境分野において「横浜市中心小企業振興基本条例」の趣旨を踏まえた市内企業の支援を実施します。また、市民や企業の皆様の環境への機運を高め、具体的な環境行動推進に向け市民力が発揮されるよう一体的にプロモーションを展開します。

III 目標達成に向けた組織運営

局一体となった「チーム力」の向上

環境保全、緑・農・公園、下水道の各分野が連携し、分野を超えた活発な意見交換、局が一体となった課題への取組やプロモーション活動など、総合力を発揮するとともに、責任職は、共感と信頼の視点からスポンサーシップを発揮し、チーム力の向上を図ります。

「現場業務」の重視

環境創造局は、市民生活の安全と安心を確保する重要な役割を担っており、その役割を支えている多くの現場の業務について、市民の皆様へのニーズにしっかりと対応し、着実に推進することを重視します。日頃から職員一人ひとりが、各々の現場を市民目線でとらえ、業務に反映できるよう、また、情熱を持って仕事ができるよう、職場づくりを進めます。

人材育成と明るく元気な職場づくり

人材育成ビジョンをもとに、さまざまな技術を持つ多様な職種の職員がその力を最大限に発揮できるよう、技術の継承や能力開発の取組、チャレンジする場を提供し、人材育成に積極的に取り組みます。ワーク・ライフ・バランスを重視した、働きやすい、「明るく元気な職場づくり」を進めます。

参考 主な事業・取組

■ 環境行政の基軸となる取組の推進

【主な事業・取組】	【内容】
<ul style="list-style-type: none"> ● 生物多様性の主流化 ● 地球温暖化対策の推進 ● 環境に関する諸計画の改定・策定 	<ul style="list-style-type: none"> ・生物多様性に関する普及啓発・調査・場づくり ・省エネ・再エネ・エネルギーマネジメントの普及促進、水素や再生可能エネルギーの活用 ・環境管理計画、ヨコハマプランの改定、下水道中期経営計画の策定

■ 「横浜みどりアップ計画」の推進

<ul style="list-style-type: none"> ● 森(樹林地)を育む取組の推進 ● 農を感じる場をつくる取組の推進 ● 実感できる緑をつくる取組の推進 ● 効果的な広報の展開 	<ul style="list-style-type: none"> ・樹林地の保全・育成、森と市民とをつなげる取組の推進 ・農に親しむ取組の推進、市民や企業と連携した地産地消の推進 ・市民協働による緑のまちづくり、緑や花による魅力・賑わいの創出 ・様々な媒体・手法を用いた効果的な広報の展開
---	--

■ 活力ある都市農業の展開

<ul style="list-style-type: none"> ● 時代の変化に応じた活力ある都市農業の展開 	<ul style="list-style-type: none"> ・安定的な農業経営・担い手の支援、生産環境の整備促進 ・農産物のブランド力の向上など、付加価値を高める取組の推進
--	---

■ 市民生活の安全と安心のさらなる確保

<ul style="list-style-type: none"> ● 下水道の維持管理、整備 ● 公園の維持管理、整備 ● 防災・減災対策の推進 ● 生活環境の保全 	<ul style="list-style-type: none"> ・公園・下水道施設の適切な維持管理・耐震化・長寿命化対策等 ・長期的な見通しを踏まえた下水道施設の再整備 ・土地利用転換に対応した大規模な公園等の整備 ・下水道 BCP を通じた対応力の向上など、被災時の機能確保 ・内水ハザードマップを活用した浸水対策、雨水幹線等の整備 ・PM2.5 や空間放射線量、公共用水域の測定など、大気・水質の常時監視 ・事業所への排ガス・排水の規制指導など、環境保全対策の推進
--	--

■ 環境分野から横浜を活性化する取組の推進

<ul style="list-style-type: none"> ● 横浜経済に資する取組の推進 ● 環境プロモーションの展開 	<ul style="list-style-type: none"> ・整備や維持管理等に関する市内中小企業の受注機会の確保 ・下水道の国際貢献・交流と海外水ビジネス展開支援 ・環境関連イベント等を通じた、横浜らしいエコライフスタイルの推進 ・横浜みどりアップ計画や下水道事業などの広報の展開 ・ズーラシアの全面開園に向けた整備、プロモーション
---	---

■ 局一体となったチーム力の向上

■ 現場業務の重視

【主な事業・取組】	【内容】
<ul style="list-style-type: none"> ● チーム意識の向上 ● 分野を超えた横断的な議論・施策決定、課題・情報の共有化 ● PDCA サイクルの徹底による事業の進捗管理 ● 組織としてのリスク管理 ● 現場職員が意欲を持てる職場づくり ● 現場からの業務改善・効率化 ● 被災地への派遣職員の支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・共感と信頼の視点による責任職のスポンサーシップの発揮 ・局政策会議の定期的開催、積極的な議題の付議 ・局主要事業の進捗管理を定期的に実施 ・適正な事務施行など、コンプライアンスの取組を局全体で徹底 ・水再生センター・ポンプ場の一斉点検、下水道 BCP の図上訓練 ・現場や窓口の職員の意見を聞き、行動を支える事を徹底 ・土木事務所と密に連携し実施する公園・下水道の維持管理の充実 ・現場で業務に従事する職員のノウハウを生かした、横断的な課題解決への取組の推進 ・被災地への派遣職員の後方支援を局一体で実施

■ 人材育成と明るく元気な職場づくり

<ul style="list-style-type: none"> ● 人材育成ビジョンをもとにした多様な職種の人材育成・チャレンジする場の提供 ● 働きやすい、明るく元気な職場づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・技術継承・技術力向上をサポートする各種研修の実施 ・局職員業務研究・改善事例発表会の開催 ・局改革推進委員会の活動を推進し、局内の横のつながりを強化 ・「ワーク・ライフ・バランス推進のための局アクションプラン」の徹底
---	--

★事業・取組の詳細については、26 年度環境創造局予算概要をご覧ください。

(ホームページ：<http://www.city.yokohama.lg.jp/kankyo/etc/yosan>)